

◎久我山学級の発表形式

今年度から始まる体育学習発表会では、久我山学級の児童も日ごろの学習の成果を発表できるように、久我山学級としての発表時間を設定しました。

子どもたちは、久我山学級の友達と一緒にふだんの学習で取り組んでいることを発表できる安心感を口にしていました。

◎体育学習発表会までの学習とそのねらい

●走・跳の運動・運動遊び

曲線やジグザグなどの場を走る活動とミニハードルやハードルを走り越える活動に取り組みました。

曲線やジグザグの場を走る運動では、走の基本的な運動の楽しさを感じ、基本的な動きを身に付けることやコースを上手に速く走るための工夫を考えて体を動かすことをねらいとしました。

ミニハードルやハードルを走り越える活動では、ハードルの間隔をバラバラにしていろいろなリズムで走り越えたり、一定の間隔を一定のリズムで走り越えたりすることをねらいとしました。

●ボール投げ運動

まず、1～6年生全体でボールを遠くに投げるための顔や体の向きについて学習をし、その後1～3年生・4～6年生に分かれて学習に取り組みました。

1～3年生は、的当てを行いました。的当てでは、適切な投げ方で上手に投げることをねらいとしました。

4～6年生は、ボール投げゲームの学習を行いました。前半は、姿勢や体重移動を意識したフォームで障害物を越えるようにボールを投げることをねらいとしました。後半は、自分に合った距離を見付けながら、障害物の上を越えて決まったエリアにボールを投げ入れることをねらいとしました。

◎当日の発表について

走・跳の運動・運動遊びでは、子どもたちが自分に合ったコースを選んで発表をします。

ボール投げ運動では、1・2・3年生は的当てゲーム、4・5・6年生はボール投げ入れゲームを行います。練習した成果を発揮できるように、子どもと相談しながら取り組んでいきます。

◎交流及び共同学習について

交流及び共同学習は、社会性を養ったり、豊かな人間性を育んだりするために大きな意義を有するものです。本校では、昨年までの運動会を交流及び共同学習の充実を図るための大切な場としてきました。そこで今年度は、久我山学級のボール投げ運動の発表の一部を通常の学級の友達と一緒に取り組むことにしました。久我山学級の児童から、ボール投げ運動の発表についての発信をし、中休みに一緒に練習を行う等の交流を行うことにしました。

